

第2次茨城県文化振興計画アクションプランに基づく施策の 取組状況について

(令和6年度第1回茨城県文化審議会資料)

目次・事業体系

I 人材の育成 …… P 1

- (1) 文化の担い手の育成及び確保
- (2) 次世代を担う子どもたちの育成
- (3) 文化に関する教育の充実

II 文化の振興 …… P 13

- (1) 芸術の振興
- (2) 伝統文化の継承及び発展
- (3) 生活文化等の振興
- (4) 文化を活用した地域づくり
- (5) 文化交流の推進

III 文化的資産の活用 …… P 23

- (1) 文化的資産の活用
- (2) 文化財の保存等
- (3) 公共の建物等の建築に当たっての配慮

IV 文化活動の充実 …… P 26

- (1) 県民の文化活動の充実
- (2) 高齢者・障害者等の文化活動の普及
- (3) 青少年の文化活動の普及

V 文化活動の支援体制の充実等 …… P 31

- (1) 文化情報の収集及び提供
- (2) 推進体制の整備
- (3) 文化施設の機能の充実
- (4) 地域における文化活動の支援
- (5) 財政上の措置
- (6) 顕彰

【凡例】

- ・事業KPIについては、原則として、政策的経費のみ記載している。
- ・事業KPIの基準及び目標に係る時点は、第2次茨城県総合計画（R4.3月策定）の計画期間と整合している。

【事業の評価】

- | | | |
|---------|--------|-------------------|
| ・ 目標達成度 | 100%以上 | 「期待以上の成果」 |
| ・ | 80～99% | 「概ね期待通りの成果」 |
| ・ | 50～79% | 「期待した成果を下回っている」 |
| ・ | 50%未満 | 「期待された成果があがっていない」 |

I 人材の育成

1 施策の方向

文化の担い手や次世代を担う子どもたちの育成とともに、文化に関する教育の充実を図る。

2 課題

本県文化の裾野を広げていくためには、柔軟で感受性の優れた年代の子どもたちをはじめ、多くの県民が、質の高い文化を鑑賞・体験する機会の充実を図る必要がある。

また、少子高齢化や過疎化が進む中、文化芸術活動の担い手の高齢化や後継者不足が懸念されており、芸術家や文化団体の活躍する場や発表の機会を提供するなど、文化の担い手を育成する機会の一層の充実を図る必要がある。

3 県の取組状況

(1) 文化の担い手の育成及び確保

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
①茨城県芸術祭★1 (生活文化課) 決算額等(千円) R5 決算:16,355 R6 当初:17,000	県民の優れた芸術創作活動の成果を発表・展示し、広く県民へこれらを鑑賞する機会を提供することにより、県民の文化に対する意識の醸成を図るとともに、心豊かで潤いのある生活を実現することができるよう芸術祭を開催する。	・期間 令和5年9月30日 ～令和6年1月7日 ・場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館等 ・参加者数:5,225人 入場者数:26,985人 計32,210人 ※26催事中1催事が中止。	・期間:令和6年10月5日 ～令和7年1月12日 ・場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館等	各団体が昨今の物価高騰の状況下においても、引き続き県芸術祭の各催事を実施できるよう、物価高騰対策に係る経費を含む17,000千円を補助額とする。

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
②水戸室内管弦楽団メンバーによる器楽セミナー★2 (生活文化課) 決算額等(千円) R5 決算:3,254 R6 当初:3,980	県内の高校生以上の楽器奏者を対象に、世界的な演奏家である水戸室内管弦楽団によるレッスンを実施し、演奏技術の向上を図る。さらに、レッスン終了後には、水戸芸術館等における成果発表コンサートを実施し、受講生の集客力向上及びモチベーション向上につなげるとともに、県民に質の高い演奏を鑑賞する機会を提供する。	管楽器アンサンブル・セミナー ・開催日:令和6年1月21日 ・場所:水戸芸術館 ・受講団体:4団体(21人) ・来場者数:176人 公開レッスン&ミニコンサート ・開催日:令和6年2月25日 ・場所:日立シビックセンター ・受講団体:2団体(62人) ・来場者数:182人	・開催日:令和7年1~3月 ・場所:水戸芸術館、高正 U&I センターホール(鹿嶋勤労文化会館) ・受講団体:県内の管打楽器奏者、 県内吹奏楽・オーケストラ団体 事業内で県内の高校生以上の管打楽器奏者を対象とした管楽器アンサンブル・セミナーと吹奏楽・オーケストラ公開レッスン&ミニコンサートを実施。	管楽器アンサンブル・セミナーは普段貸館をしていない水戸芸術館で実施する。 吹奏楽・オーケストラ公開レッスン&ミニコンサートは5年間かけて県内5地域を巡回する計画であり、今年度は鹿行地域を中心に活動する団体を募集し、高正 U&I センターホール(鹿嶋勤労文化会館)で実施する。
③文化芸術体験出前講座★2 (生活文化課) 決算額等(千円) R5 決算:28,154 R6 当初:47,944	児童生徒をはじめとする県民が本格的な文化芸術に触れる機会を提供し、将来の担い手や鑑賞者を育成するとともに、若手演奏家や文化芸術活動団体等に活躍の場を提供する。また、文化芸術活動団体と学校及び市町村との連携・協力体制構築の促進を図る。	文化芸術体験出前講座 実施講座数:117講座 参加者数:13,716人 [学校枠]対象:小中高校及び特別支援学校 音楽68講座、美術21講座、 茶道7講座、華道9講座、 能楽4講座、食文化3講座 [一般枠]対象:一般県民 音楽4講座、能楽1講座	文化芸術体験出前講座 実施講座数:137講座 [学校枠]対象:小中高校及び特別支援学校 音楽97講座、美術16講座、 茶道6講座、華道7講座、 能楽5講座、食文化3講座 [一般枠]対象:一般県民 音楽3講座	県内各地の学校や公立文化施設等において文化芸術の鑑賞・体験機会を提供する。 また、作品鑑賞を通して美術への興味関心を深めることを目的とした「美術鑑賞講座」(R5~)については、今年度は美術科専攻の高校生を対象に実施する。
④新人演奏会 (生活文化課) 決算額等(千円) R5 決算:2,000 R6 当初:2,000	本県出身等の新人演奏家に発表の機会を提供して演奏技術の向上を図り、もって地域音楽活動の指導者育成及び本県の音楽文化の振興・向上に資する。	第49回茨城県新人演奏会 期日:令和5年6月11日(オーディション) 令和5年9月24日(本演奏会) 場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホール オーディション参加者数:32名 本演奏会出演者数:16名 新人賞1名、奨励賞1名	第50回茨城県新人演奏会 期日:令和6年6月16日(オーディション) 令和6年9月29日(本演奏会) 場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホール オーディション応募者数:41名 本演奏会出演者数:-名 (オーディション合格者)	オーディション参加者を増加させるため、応募条件の見直しを進めるほか、本演奏会に出演する本県ゆかりの演奏家の活躍を広く県民に発信することを目的として、引き続き積極的な広報活動を行う。

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
⑤民俗文化財活性促進事業 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:16 R6 当初:25,521	歴史的・文化的価値を有する「お祭り」への支援や、民俗芸能等の映像の収集・公開などにより、民俗文化財の活性化を図り、後世に継承していく。	いばらきの郷土民俗芸能アーカイブス 県内に伝承する民俗芸能の映像の収集及び動画共有サービス(YouTube)を活用した公開 ・対象 国・県・市町村指定等の民俗文化財 約 250 件 ・公開:11 件 ・視聴数:約 2,100 回(年間)	1 民俗文化財(お祭り)への補助 ・対象 無形民俗文化財を構成要素とするお祭りのうち、歴史的・文化的価値、規模などにより、有識者委員会(茨城県民俗文化財活性化検討委員会)が選定した5件 ・選定したおまつり 「伝える、結ぶ、広がる“茨城のおまつり”」 ・日立さくらまつり(日立市) ・石岡のおまつり(石岡市) ・常陸大津の御船祭(北茨城市) ・潮来祇園祭禮(潮来市) ・みなと八朔まつり(ひたちなか市) ・補助額:5,000 千円(上限)／件 2 いばらきの郷土民俗芸能アーカイブス 市町村や関係団体に、保有する映像の提供や、新たな映像の収録を依頼。 収集した映像を動画共有サービス(YouTube)で公開。 ・対象:国・県・市町村指定等の民俗文化財 約 250 件 3 関東ブロック民俗芸能大会への出演 「潮来ばやし」(潮来市)が出演予定 ・期日:令和6年 10 月 6 日(日) ・会場:静岡県静岡市	歴史的・文化的価値を有する「お祭り」への支援や、民俗芸能等の映像の収集・公開などにより、民俗文化財についての理解促進と保存意識の高揚、後継者の養成促進等を図り、本県の民俗文化財を後世に継承していく。

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
⑥子ども伝統文化フェスティバル★4 (生活文化課) 決算額等(千円) R5 決算:— R6 当初:—	伝統文化活動を行う子どもや大人に日頃の練習の成果を発表する機会を提供し、発表する子どもたちの意欲向上、観覧する県民への興味喚起を図る。 ※伝統文化総合支援事業の中で実施(17 ページ参照)	[龍ヶ崎市] ・開催日:令和5年10月29日 ・会場:農業公園豊作村 ・参加団体数:4団体、来場者数:376人 [水戸市] ・開催日:令和5年11月5日 ・会場:県立歴史館 ・参加団体数:10団体、来場者数:545人	[土浦市] ・開催日:令和6年10月 ・会場:(未定) ・参加団体数:10団体程度 [水戸市] ・開催日:令和6年11月 ・会場:県立歴史館 ・参加団体数:10団体程度	子どもたちにとっての発表の場を創出するとともに、多くの県民が伝統文化団体の活動に触れる機会を提供する。 また、令和5年度より開催規模を拡大し、20団体程度の出演とする。
⑦笠間陶芸大学校事業 (技術革新課) 決算額等(千円) R5 決算:8,296 R6 当初:8,553	陶芸に関する専門的な知識及び高度で多様な技術等を習得させる。 ・陶芸学科 2年制、 定員1学年12名 ・研究科 1年制、定員3名	令和5年度は陶芸学科24名、研究科3名の合計27名が在学し、特命教授を中心としたカリキュラムや各種広報活動を実施した。その他、陶芸従事者を対象に、作陶における技術力の向上および課題解決を目的に陶芸技術者専門研修(修了10名)を行い、指導を行った。	令和6年度は陶芸学科24名、研究科3名の合計27名が在学し、引き続き、特命教授を中心としてカリキュラムの充実を図るとともに、全国から優秀な人材を集めるため、積極的なPRを実施する。その他、陶芸従事者を対象に、技術力向上・課題解決を目的に陶芸技術者専門研修を実施する。	特命教授の大学校訪問などのPR活動・入学者募集のためのオープンキャンパス等を積極的に実施する。
⑧食生活改善地区組織育成・強化推進事業 (健康推進課) 決算額等(千円) R5 決算:1,904 R6 当初:2,097	地域における食を通じた健康づくりの取組を推進するため、食生活改善推進員を対象とした地区組織リーダー育成研修会を開催する。 協議会が実施する食生活改善活動の企画や連絡調整、組織の充実強化を図るための助成を行う。	地区組織リーダー育成研修会の開催 1 市町村会長等研修会 ・実施日:5月30日 ・会場:水戸京成ホテル ・参加者:166人 2 次世代リーダー育成研修会 ・実施日:①8月25日、②8月29日 ・会場:①県庁舎講堂、②イーアスつくば ・参加者:計270人	事務局との調整のもと、地区組織リーダー育成研修会開催に向け事業準備中。 1 市町村会長等研修会(予定) ・実施日:8月8日 ・会場:水戸京成ホテル 2 次世代リーダー育成研修会(予定) ・実施日:8月下旬予定 ・会場:①常磐大学調理室 ②つくば栄養医療調理製菓専門学校調理室	食生活改善推進員のリーダー育成のため、会場での開催とオンラインを併用し、会員が研修に参加しやすい体制整備に努め、地区組織の育成を支援していく。

(2) 次世代を担う子どもたちの育成

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
<p>①近代美術館美術普及事業 (文化課)</p> <p>決算額等(千円)</p> <p>R5 決算:28,695</p> <p>R6 当初:32,783</p>	<p>県民の美術への親しみや関心を深めるため、普及活動を積極的に実施する。</p>	<p>1 学校・地域との教育連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アウトリーチ事業「ハロー！ミュージアム」 館外 51 日、館内 16 日、オンライン 31 日 ○教育普及アートバス事業:24 校 ※企業パートナーシップ事業の一環 ○高校生特派員事業:12 校 ・ミュージアムツアーの開催:1回 ・美術展の開催:1 回 ・オープニングセレモニーへの参加:1回 ○職場体験の受入:5 校 ○インターンシップの受入:1 校 ○協定に基づく茨城大学との連携 ・インターンシップ授業の実施:5 回 ・館内授業の実施:5 回 ・館内美術館アカデミー開催:2 回 ・ワークショップの実施:1 回 ○博物館実習:1 回 <p>2 アートフォーラム等の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル、画材等による展示活動:4 回 ・映像、美術図書等による情報提供 ・創作コーナーの設置:3 回 	<p>1 学校・地域との教育連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ○アウトリーチ事業「ハロー！ミュージアム」 ○教育普及アートバス事業:22 校 ※企業パートナーシップ事業の一環 ○高校生特派員事業:(募集中) ○職場体験・インターンシップの受入 ○協定に基づく茨城大学との連携 ○博物館実習の受入:1 回 <p>2 アートフォーラム等の運営</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パネル、画材等による展示活動:3 回 ・映像、美術図書等による情報提供 ・創作コーナーの設置 	<p>・イベントの参加人数や参加方法(事前申込)等は基本的にコロナ禍前に戻す。</p> <p>・ギャラリートークを再開する。</p> <p>・対話型美術鑑賞教育の推進。</p>

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
		<p>3 美術講演・講座等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展関連美術講演・講座:7回 ・企画展関連実技講座・ワークショップ:3回 ・その他企画展関連イベント:5回 ・その他ワークショップ:1回 ・所蔵品展対話型鑑賞:10回 ・ミュージアムコンサート:2回 ・ベビー・キッズ対象対話型鑑賞:9回 <p>4 美術館情報交流ネットワーク事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術館情報交流ネットワーク拠点機能の整備、所蔵品検索システム運用、モバイル機器への情報提供等 	<p>3 美術講演・講座等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画展関連美術講演・講座 ・企画展関連実技講座・ワークショップ ・所蔵品展対話型鑑賞:10回 ・ベビー・キッズ対象対話型鑑賞 <p>4 美術館情報交流ネットワーク事業</p> <p>デジタル映像システム整備、HP運営等</p>	

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
②天心記念五浦美術館美術普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:3,647 R6 当初:3,647	県民に美術への親しみや関心を深めるため、多様な普及活動を積極的に実施する。	1 学校・地域との教育連携 ○日本画トランクの貸出:67 件 ○学校団体受入:23 校 ○近隣学校による展覧会の開催等: ・第 32 回北茨城市小中学校美術展覧会 2,623 人入場 ・県北地区高等学校合同美術展 71 人入場 ○職場体験受入:2 回 ○茨城大学との連携 ・展覧会見学、ワークショップ:3 回 2 岡倉天心記念室ガイドツアー 参加者:2,386 人 ※記念室音声ガイドのネット配信:随時 3 美術講演・講座等の開催 ・講演会:4 回 ・ギャラリートーク・作品解説会:17 回 ・映画会:12 回 ・ミュージアムコンサート:5 回 ・ワークショップ:2 回 ・アートツアー for kids:3 回 ・実技講座・ワークショップ:11 回	1 学校・地域との教育連携事業 ○日本画トランクの貸出:随時 ○来館学校・団体へのガイダンス ○近隣学校の展覧会の開催等 ○茨城大学との連携 ・展覧会見学:1回 ・実技講座の開催:1 回 2 岡倉天心記念室ガイドツアー :2 回/1 日 ※記念室音声ガイドネット配信:随時 3 美術講演・講座等の開催 ・講演会:1 回 ・ギャラリートーク・作品解説会:10 回程度 ・ミュージアムシアター:12 回 ・ミュージアムコンサート:4 回 ・実技講座・ワークショップ:5 回 ・アートツアー for kids:3 回 ・日本画実技講座:1 回	・美術館に来ることがその人の人生の一部となるような、子どもから高齢者までできるだけ多くの人に参加しやすいイベント実施を計画する。 ・日本画をはじめ伝統的美術・技法を体験できる講座やワークショップを計画する。 ・関連市町村や教育機関等と協働した館外イベントの実施

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
③陶芸美術館美術 普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:4,475 R6 当初:6,051	県民に美術への親しみや関心を 深めるため、多様な普及活動を積 極的に実施する。	1 学校・地域との教育連携 ・「かさま発見！スタンプラリー」事業： 7月21日～8月31日、484人利用 ・陶芸ボックス貸出:6団体、279人利用 ・笠間市小中学校美術展： 11月25日～26日、4,008人観覧 ・高校生茶道部交流会： 1月28日、23校、238人参加 2 美術講演・講座等の開催 ・美術講演会:9回、565人参加 ・ワークショップ:4回、74人参加 ・ギャラリートーク:5回、181人参加 ・県民の日呈茶会： 11月13日、103人参加 ・波山工房ロケセット呈茶会： 10月1日、5席、40人参加 ・図書館との連携(3月) 企画展関連図書の展示	1 学校・地域との教育連携 ・「かさま発見！スタンプラリー」事業： 7月～8月 ・陶芸ボックスの貸出:随時 ・笠間市小中学校美術展の開催:11月下旬 ・高校生茶道部交流会:1月下旬～2月上旬 2 美術講演・講座等の開催 ・美術講演会:年8回 ・ワークショップ:3回 ・ギャラリートーク:4回 ・夏休み子ども向け展示解説 ・呈茶会:11月 ・図書館との連携:4、5月 企画展関連図書の展示	・電子媒体を利用した積極的な広 報活動を展開する。 ・収蔵品によるタッチ&トークの開 催

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
④自然博物館教育普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:2,936 R6 当初:3,037	自然講座や野外での自然観察会、野外施設を活用した各種体験教室、博物館資料を遠隔地の学校等で展示・公開する「移動博物館」など体験型の教育普及事業を実施し、自然への興味関心を高めるとともに、博物館活動の理解を深める。	1 自然講座、自然観察会、体験教室等の開催 ○自然講座:10回 ○大学との連携:9回 ○学芸員によるサイエンストーク:6回 ※荒天により1回中止 ○学芸員ネイチャーガイド:32回 ○わくわくディスカバリー:7回 2 移動博物館 ・県内の小中学校・特別支援学校8校 ・社会教育施設:3施設 3 ジュニア学芸員育成事業 ・中・高校生が博物館職員の支援のもと各分野のテーマについて学習した。 ・新規ジュニア学芸員認定者数:20人 ・ジュニア学芸員登録者数:24人	1 自然講座等 ・自然ラボ(講座):9回 ・サイエンストーク:6回 2 自然観察会等 ・自然ラボ(観察会):10回 ・ネイチャーガイド:毎土曜日(第3土曜日を除く) 3 体験教室等 ・サンデーサイエンス:毎日曜日 4 移動博物館 ・県内の小中学校・特別支援学校:9校 ・社会教育施設:3会場 5 ジュニア学芸員育成事業 ・ジュニア学芸員養成講座(4月~9月)実施中:15人 ・ジュニア学芸員登録者数:32人	・好評を得ているイベントは対面とオンラインとのハイブリッドで実施することで、多くの人が参加できるように配慮していく。
⑤歴史館魅力向上事業 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:- R6 当初:38,300	偕楽園との近接性を生かした歴史館の魅力化・誘客促進を図るため、企画力のある外部人材を活用し、歴史館の新しいコンセプト設計、展覧会の開催、出版社との連携事業などを実施する。	歴史館魅力向上支援事業 ・歴史館及び周辺地域の来訪者・資源調査、コンセプト設計、企画提案	1 外部人材企画運営による展覧会を開催 企画展「未来の歴史展(仮称)」 会期:令和6年12月14日から 令和7年1月26日 2 出版社との連携による歴史館魅力向上事業 (1)歴史クイズ&スタンプラリーの企画・実施 (2)PR動画の制作及び配信	偕楽園との近接性を生かした歴史館の魅力化・誘客促進を図るため、企画力のある外部人材を活用し、効果的な事業・手法を検証、効果測定しながら実施していく。

【再掲】

- ・文化芸術体験出前講座(生活文化課)
- ・子ども伝統文化フェスティバル(生活文化課)

(3) 文化に関する教育の充実

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
<p>①茨城県高等学校 総合文化祭開催 (文化課)</p> <p>決算額等(千円) R5 決算:2,772 R6 当初:2,772</p>	<p>高校生に美術、音楽及び演劇な どの芸術文化活動の機会を提供 し創造活動の向上を図る。</p>	<p>1 総合開会式 期日:令和5年10月24日 会場:ザ・ヒロサワ・シティ会館</p> <p>2 美術展 期日:令和5年10月31日～11月5日 11月12日～16日 会場:ザ・ヒロサワ・シティ会館ほか 参加校数:214校、入場者数:3,885人</p> <p>3 音楽会 期日:令和5年10月12日・11月22日 会場:ひたちなか市文化会館 参加校数:69校、入場者数:2,109人</p> <p>4 演劇 期日:令和5年11月18日～19日 会場:小美玉市四季文化館 参加校数:10校 入場者数:567人</p>	<p>1 総合開会式 期日:令和6年10月23日 会場:ザ・ヒロサワ・シティ会館</p> <p>2 美術展 期日:令和6年10月29日～11月4日 11月14日～11月18日 会場:ザ・ヒロサワ・シティ会館ほか</p> <p>3 音楽会 期日:令和6年10月30日・11月22日 会場:ひたちなか市文化会館</p> <p>4 演劇祭 期日:令和6年11月16日～17日 会場:小美玉市四季文化館</p>	<p>・感染症の状況等を考慮しながら引き続き、発表の場を提供することで、学校における文化芸術活動を推進する。</p> <p>・県高等学校文化連盟と連携を図りながら、広く広報に努める。</p>
<p>②茨城県小中学校 芸術祭開催 (文化課)</p> <p>決算額等(千円) R5 決算:1,245 R6 当初:1,245</p>	<p>小中学生の創造性を高め、豊かな情操を培うため、学校教育との連携を図りながら、美術展を開催する。</p>	<p>小・中学校美術展覧会 期日:令和5年11月25日～29日 出品者数:1,458点、入場者数:5,185人</p>	<p>小・中学校美術展覧会 期間:令和6年11月22日～26日 会場:ザ・ヒロサワ・シティ会館</p>	<p>・感染症の状況等を考慮しながら、引き続き、発表の場を提供することで、学校における文化芸術活動を推進する。</p> <p>・会場の密を避けるため制限していた展示数を緩和する。</p>

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
③いばらきっ子郷土 検定事業 (生涯学習課) 決算額等(千円) R5 決算:2,302 R6 当初:2,581	中学2年生を対象に茨城県独自の郷土検定を行い、子どもたちが楽しみながら本県の伝統や文化を学ぶことにより、子どもたちの郷土への愛着心や誇りに思う気持ちを育む。	1 市町村大会 ・開催期間:令和5年11月 ・参加校数:239校、参加者数:21,437人 2 県大会 ・日時:令和6年2月3日 9:30~14:00 ・場所:ザ・ヒロサワ・シティ会館大ホール ・出場校数:45校(市町村代表44校、国・県・私立代表校1校)、参加者数:約715人 3 郷土検定ドリル ・利用者が自主的にPC(タブレット)を活用し、郷土学習を進めることができるシステム「郷土検定ドリル」を開始。	1 市町村大会 ・開催期間:令和6年11月 ・参加校数:約240校 ・参加者数:約20,000人 2 県大会 ・開催日:令和7年2月1日 ・参加予定者数:約750人	一人一人の教育的ニーズや理解度に応じた、自主的かつ継続的な郷土学習を可能にする「郷土検定ウェブサイト」や「郷土検定ドリル」の活用を推進する。
④副読本を活用した 小中学校での地域の 歴史や文化学習 (義務教育課) 決算額等(千円) R5 決算:— R6 当初:—	学習指導要領に基づき、各市町村において、身近な地域の歴史、特色ある伝統や文化等を取上げた副読本を作成し、社会科の授業等で活用している。	主に小学校3年生、4年生の授業で活用 ・44/44市町村	主に小学校3年生、4年生の授業で活用 ・44/44市町村	各市町村において、定期的に副読本の改訂が行われており、身近な地域の歴史や文化の学習における中心資料として、社会科の授業等で活用していく。

【再掲】

- ・文化芸術体験出前講座(生活文化課)
- ・近代美術館美術普及事業(文化課)
- ・自然博物館美術普及事業(文化課)

4 事業KPI

(1)「県芸術祭の参加者数」(単位:人) ★1 目標達成度【概ね期待通りの成果】

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	26,000	35,000	36,000	37,000
実績値	16,824	26,311	32,210		
達成率	—	101.2%	92.0%		

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・ I (1)① 茨城県芸術祭

(2)「関連事業の参加者数」(単位:人) ★2 目標達成度【期待以上の成果】

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	11,000	13,000	13,000	13,000
実績値	9,574	14,888	13,799		
達成率	—	135.3%	106.1%		

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・ I (1)② 水戸室内管弦楽団メンバーによる楽器セミナー
- ・ I (1)③ 文化芸術体験出前講座

5 事業の評価

県芸術祭では、令和4年度の参加者数26,311人を上回る32,210人が参加し、目標達成度は「概ね期待通りの成果」となった。また、「関連事業の参加者数」の達成率は106.1%と目標値を上回り、目標達成度は「期待以上の成果」となった。

県芸術祭においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に要する経費を含む17,000千円を補助額とし、コロナ対策を講じた上で、継続して各催事を実施できるよう努めた。関連事業の器楽セミナーにおいては、令和4年度から5年間かけて県内各地域（県央・県南・県北・鹿行・県西）を巡回して音楽団体に公開レッスンを実施しており、令和5年度は県北地域（日立市）で公開レッスンを実施した。また、文化芸術体験出前講座においては、令和4年度の108講座から117講座に講座数を拡大し、より幅広い地域や場所での事業実施に取り組んだ。

6 今後の展開・方向性

県芸術祭においては、令和3年度より新型コロナウイルス感染症拡大防止に要する経費として補助金を増額していたが、コロナが感染症法の第5類となるなど社会状況の変化を鑑み、感染症対策に係る費用措置を終了した。一方、昨今の物価高騰の状況を鑑み、令和6年度から同額を物価高騰対策に係る費用として措置している。引き続き、県民に文化芸術を鑑賞・体験できる機会を提供し、芸術家等の活動機会の確保と、担い手の育成に努めていく。

Ⅱ 文化の振興

1 施策の方向

茨城の文化を高め、その魅力を国内外に発信し、本県文化のブランド力を確立する。また、新たな文化を創造し、地域の活性化を図る。

2 課題

文化芸術の振興にあたっては、各文化団体の自主性や創造性を尊重しつつ、優れた創作活動に対して効果的な支援を行っていく必要がある。

また、広く県民に認知されていない伝統文化もあることから、それらの掘り起こしを行いながら、発表の場の提供や魅力発信など、支援の充実を図る必要がある。

3 県の取組状況

(1) 芸術の振興

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
①各文化活動への後援 (生活文化課) 決算額等(千円) R5 決算:- R6 当初:-	県以外の者が主催して行う催事等で文化振興に寄与するものについて、県が後援していることを広く県民に知らせることによって、催事等に信用を付与するとともに文化意識の高揚を図り、文化の振興を促進する。	後援承認件数:137 件	後援承認件数:26 件 (R6 年 5 月末現在)	—
②県民文化センター管理委託 (生活文化課)★3 決算額等(千円) R5 決算:193,372 R6 当初:184,296	県民の文化芸術活動を支える拠点施設として、本県の文化芸術の振興と県民教養の高揚を推進していく。	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者数:354,099 人 ・参加創造事業: 県内巡回アウトリーチ事業等 9 事業 入場者数 2,853 人 ・鑑賞事業:WAHAHA 本舗全体公演等 22 事業 入場者数 25,690 人 ・備品購入:大ホールドロップ幕(松羽目)など ・修繕工事:大ホール照明操作卓改修など 	<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術創造発信事業: 茨城県新人演奏会等 4 事業 ・鑑賞事業:池辺晋一郎&N響団友オーケストラ等 19 事業 ・備品購入:展示棟 AED など ・修繕工事: 小ホール他空調設備改修工事など 	令和6年度以降の指定管理者である県民文化センター運営共同事業体とともに、施設の利用促進に努め、更なる利用者の増加を図る。

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
③陶芸美術館資料整備 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算: 4,162 R6 当初: 4,221	人間国宝・文化勲章受章者等の作品をはじめ、日本近現代陶芸の全貌を通観できるよう、優れた美術資料の継続的な購入を進める。	次のとおり美術作品を購入した。 ・工芸 小池頰子(陶器) ほかに16件	収蔵品の充実を図るべく、工芸作品を購入予定。	引き続き、事業計画どおり実施
④近代美術館常設展 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:4,714 R6 当初:4,868	常設展示室において、それぞれ所蔵作品をテーマに応じて展示する。	所蔵作品の中から日本近代美術の秀作を選び、近代美術館で4期展示公開した。 1期 4月12日～6月11日 2期 前期:6月17日～7月30日 後期:8月1日～9月18日 3期 10月21日～12月17日 4期 前期:12月20日～2月18日 後期:2月22日～4月29日 入館者数:6,197人	所蔵作品の中から近代美術の秀作を選び、近代美術館で4期展示する。 1期 5月3日～6月19日 2期 前期:6月25日～8月4日 後期:8月7日～9月21日 3期 11月1日～12月21日 4期 前期:12月25日～2月13日 後期:2月18日～次年度	引き続き、事業計画どおり実施。また、昨年度途中より導入した、来館者が自身のスマートフォンなどで作品解説を聴くことができる「ポケット学芸員」について、さらなる充実を目指す。
⑤近代美術館企画展 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:39,643 R6 当初:48,738	企画展示室において、企画展を開催する。	1 「猪熊弦一郎展『いのくまさん』」 会期:令和5年4月15日～6月25日 入館者数:9,431人 2 「土とともに 美術にみる〈農〉の世界 ―ミレー、ゴッホ、浅井忠から現代のアーティストまで―」 会期:令和5年7月8日～9月3日 入館者数:13,180人 3 「国吉康雄展 ～安眠を妨げる夢～福武コレクション・岡山県立美術館のコレクションを中心に」 会期:令和5年10月24日～12月24日 入館者数:7,401人 4 「英国キュー王立植物園 おいしいボタニカル・アート 食を彩る植物のものがたり」 会期:令和6年2月23日～4月14日 入館者数:13,803人(うちR5年度8,883人)	1 「石岡瑛子 I デザイン」 会期:令和6年4月27日～7月7日 2 「つくる展 TASKO ファクトリーのひらめきをかたちに」 会期:令和6年7月20日～9月23日 3 「没後100年 中村彝展」 会期:令和6年11月10日～令和7年1月23日 4 「キース・ヘリング展 アートをストリートへ」 会期:令和7年2月1日～4月6日	多くの入場者を期待できそうな企画展、親子で楽しめる企画展、所蔵品を活用する企画展、作品研究の成果として開催する企画展等、予算のバランスを鑑みつつ、バラエティに富む内容の企画展を計画していく。

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
⑥陶芸美術館常設展 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:3,747 R6 当初:4,595	1 コレクション展 「近現代日本陶芸の展開」をテーマに、明治期から現在までの日本陶芸史を概観できるよう、所蔵品を中心に展示しているほか、板谷波山と松井康成については、特集展示コーナーを設け、紹介する。 2 テーマ展 現在活躍中の陶芸家の作品を中心に様々なテーマを設け、展示紹介する。	【第1展示室】 1 コレクション展Ⅰ・新収蔵品展 会期:令和5年5月10日～10月22日 2 コレクション展Ⅱ・Ⅲ 会期:令和5年10月25日～令和6年5月6日 【第2展示室】 1 没後20年 松井康成特集 会期:令和5年6月21日～7月17日 2 浅野榮一の江戸小紋 会期:令和5年9月6日～12月3日 3 駒井哲郎・中村直人展 会期:令和6年1月2日～4月7日 常設展のみの入館者数:5,528人	【第1展示室】 1 コレクション展Ⅰ・新収蔵品展 会期:令和6年5月9日～10月27日 2 コレクション展Ⅱ・Ⅲ 会期:令和6年10月30日～次年度(予定) 【第2展示室】 1 コレクション展Ⅰ・新収蔵品展(第2会場) 会期:令和6年4月17日～7月15日 2 現代の革工芸 会期:令和6年9月11日～12月15日 3 テーマ展(仮称) 会期:令和6年12月18日～次年度(予定)	展示解説員によるギャラリートークの実施。
⑦陶芸美術館企画展 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:31,480 R6 当初:33,203	企画展示室において、企画展等を開催する。	1 「フィンランド・ガラスアート 輝きと彩りのモダンデザイン/ムーミンの食卓とコンヴィヴィアル」 会期:令和5年3月18日～6月11日 入館者数:16,580人(うちR5年度14,503人) 2 「未来へつなぐ陶芸—伝統のチカラ展」 会期:令和5年7月8日～8月27日 入館者数:4,778人 3 「皇室と近代の陶磁 三の丸尚蔵館名品展」 会期:令和5年9月16日～12月10日 入館者数:19,033人 4 「ガラスアート・ライジング 藤田、リトルトン、リベンスキーと世界の作家」 会期:令和6年1月2日～4月7日 入館者数:8,870人(うちR5年度7,844人)	1 「ガラスアート・ライジング 藤田、リトルトン、リベンスキーと世界の作家」 会期:令和6年1月2日～4月7日 2 「魯山人クロッシング」 会期:令和6年4月27日～7月7日 3 「タクミのセラミック・トラベル」 会期:令和6年7月27日～9月23日 4 「現代日本陶芸アニュアル、いばらき」 会期:令和6年10月12日～令和7年1月26日 5 「岐阜県現代陶芸美術館コレクション ティーカップ・メリーゴーラウンド ヨーロッパ陶磁にみるモダンデザイン100年」 会期:令和7年2月15日～6月(予定)	触れる展示等の展示方法の導入。

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
⑧フィルムコミッション 推進事業 (観光誘客課) 決算額等(千円) R5 決算:22,900 R6 当初:23,851	・ロケ誘致 ・ロケ支援 ・ロケツーリズムの推進	1 県内撮影支援作品数:619 作品※ 2 県内撮影日数:1,524 日※ 3 ロケ地マップ Vol.17 の発行 4 ロケ地バスツアーの実施 『ゴジラ-1.0』ロケ地巡りツアー(R5.12.16) 5 映像関係事業者と連携した本県 PR 企画の実施 ※R4年度実績	1 ロケ地マップ Vol.18 の発行 2 ロケ地バスツアーの実施 3 映像関係事業者と連携した本県 PR 企画 の実施 本県で撮影した映画の公開に合わせ対象 の市町村と共同でロケ地の展示・活用を 実施	引き続きロケの誘致・支援を行 うとともに、支援作品を活用した 本県 PR 及び観光誘客に行く。
⑨茨城県魅力映画支 援事業(観光誘客課) 決算額等(千円) R5 決算:2,192 R6 当初:14,182	本県を舞台題材にした作品の誘致	魅力映画支援によるロケ地の聖地化 (1)海外の映像作品誘致に向けた 茨城ロケ地プロモーション ・東京国際映画祭(実地開催)、香港フィルマート (実地開催)への出展	魅力映画支援によるロケ地の聖地化 (1)海外の映像作品誘致に向けた 茨城ロケ地プロモーション (2)魅力ある国内外の映像作品の支援	コロナ禍に実施できなかったロ ケーションツアー等を行い、魅 力ある映像作品の誘致・支援 を行う。

【再掲】

- ・茨城県芸術祭(生活文化課)

(2) 伝統文化の継承及び発展

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
①伝統文化総合支援 事業★4 (生活文化課) 決算額等(千円) R5 決算:4,908 R6 当初:8,000	県内各地で行われている伝統的な 行事や民俗芸能などの伝統文化に ついて、その継承等に取り組む伝統 文化団体への発表機会の提供や情 報発信の支援等を行う。	・伝統文化団体と催事主催者の マッチング(11 団体) ・小学校放課後子ども教室での 伝統文化体験会(3 団体) ・担い手募集サイトでの情報発信(10 団体) ・子ども伝統文化フェスティバル(14 団体)	・伝統文化団体と催事主催者の マッチング ・担い手募集サイトでの情報発信 ・子ども伝統文化フェスティバル(年2回)	伝統文化団体が抱える「担い手不足」や 「発表機会の確保」の課題を解決するた め、ウェブサイト等を活用した後継者募 集や、イベント主催者と伝統文化団体の 仲介に取り組む。また、子ども伝統文化 フェスティバルの規模を拡大する。

【再掲】

- ・子ども伝統文化フェスティバル(生活文化課)
- ・民俗文化財活性促進事業(文化課)

(3) 生活文化等の振興

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
①「茨城をたべよう」県産品販売・PR促進事業 (販売戦略課) 決算額等(千円) R5 決算:3,500 R6 当初:3,500	県内において進めてきた地産地消の活動から取組を拡充し、生産者、事業者、消費者等が一致協力して県産農林水産物の利用を促進するとともに、県産農林水産物の魅力を広く発信し、県内外における認知度向上と消費拡大を図ることを目的とする。 ※「茨城をたべよう運動推進協議会」は、令和3年度から「いばらき食の魅力発信協議会」へ改組した。	1 県内外への県産農林水産物の PR ・県内全小学 5 年生に対し、県内の主要農産物を紹介したクリアファイルの配布 ・商談展示会「スーパーマーケット・トレードショー2024」への出展支援 ・市町村等が実施する農林水産物関連イベント情報の「いばらき食と農のポータルサイト」への掲載、ノベルティグッズの提供等 ・「いばらき食と農のポータルサイト」やメディアを活用した PR ・「茨城をたべよう」シンボルマーク及びノベルティグッズを活用した PR ・協議会会員と連携した各種イベントにおける PR 2 協議会会員相互の連携・交流促進 ・会員を対象としたセミナー及び交流会の開催 令和6年1月 25 日(木) 茨城県庁 11 階アトリウムにて開催 セミナー参加者:44 名、交流会参加者:約 83 名(44 団体) ・協議会会員相互の連携を目的としたマッチング事業の実施 3 新規会員獲得推進 ・「いばらき食と農のポータルサイト」内に協議会ページを作成、活動内容の周知	1 県産農林水産物の PR ・「茨城をたべよう」シンボルマーク及びノベルティグッズを活用した PR (協議会会員へのフラッグ・のぼり、ノベルティグッズ等の配布) ・市町村等が実施する農林水産物関連イベント情報の「いばらき食と農のポータルサイト」への掲載、ノベルティグッズの提供等 ・協議会会員と連携した各種イベントにおける PR (県外の商業施設、宿泊施設、レストラン等で開催するイベントにおける PR の実施等) ・県内小学5年生に対し、主要農産物を紹介するクリアファイルを配布 2 協議会員の活動促進 ・協議会員を対象としたセミナー及び交流会の開催(交流促進) ・協議会会員相互のマッチング(県産農林水産物を使用した商品の共同開発支援等) ・「いばらき食と農のポータルサイト」の協議会ページの活用(会員の活動促進)	協議会会員同士の連携、交流促進(マッチング)を積極的に図っていき、会員になることのメリットを強調していきたいと考えている。

【再掲】

- ・文化芸術体験出前講座(生活文化課)
- ・食生活改善地区組織育成・強化推進事業(活動支援・リーダー育成) (健康推進課)

(4) 文化を活用した地域づくり

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
①アーカスプロジェクト 推進事業 (地域振興課) 決算額等(千円) R5 決算:5,489 R6 当初:9,146	海外からアーティストを招き、 滞在中の制作活動を支援する「 アーティスト・イン・レジデ ンスプログラム」や、県民が 身近に芸術を体験できる「地 域プログラム」などを通じ、芸 術を活かした創造性豊かな 地域づくりと本県のイメージ アップを図る。	1 公募によるアーティスト・イン・レジデンス 招聘アーティスト:2組 招聘期間:9月7日～12月5日(90日間) 2 海外のアート団体等との連携プログラム 日本・韓国アーティスト:各1組 活動期間:訳 60日間 3 短期のアーティスト・イン・レジデンス 招聘アーティスト:4組 活動期間:6月9日～8月9日(各30日間) 4 ラーニングプログラム ワークショップ等:3回 全事業参加者数:1,381人	1 公募によるレジデンスプログラム 招聘アーティスト:3組 招聘期間:8月下旬～11月中旬 2 短期のアーティスト・イン・レジデンス 招聘アーティスト:9組(夏6組、冬3組) 3 ラーニングプログラム ワークショップ等の開催 4 記録集作成 R4/R5実施事業の活動記録集作成	引き続き、「アーティスト・イン・レジデンスプ ログラム」および「地域プログラム」の実施 により、アートを活かした魅力ある地域づく りを推進する。

(5) 文化交流の推進

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
①全国高等学校総合文化祭への活動支援 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:3,000 R6 当初:3,000	高等学校相互の交流を図るとともに、高等学校における合唱や美術工芸等の部活動の振興に資するため、全国高校学校総合文化祭に県代表校を派遣する。	第 47 回全国高等学校総合文化祭へ、次のとおり県代表校を派遣した。 ・開催期間:令和 5 年 7 月 29 日～8 月 4 日 ・開催地:鹿児島県 ・参加状況:規定 17 部門 延べ 65 校 351 人参加	次のとおり県代表校を派遣する。 ・開催期間:令和 6 年 7 月 31 日～8 月 5 日 ・開催地:岐阜県 ・派遣部門:総合開会式など 19 部門	引き続き、県代表校の派遣により、高等学校相互の交流や学校における文化芸術活動を推進する。
②国文祭への参加支援 (生活文化課) 決算額等(千円) R5 決算:- R6 当初:-	国文祭開催県から出演者(団体)募集があった際、県内市町村及び文化団体に情報提供するとともに出演者(団体)の推薦を行う。	いしかわ 2023 派遣団体(決定) ・[K・M・D・I 付属]Yuko-Dance-Academy 流通経済大学ダンス部 ・県立大洗高等学校マーチングバンド部 ・水戸はつらつ健康マージャン会 ・茨城県かるた協会	ぎふ 2024 派遣団体(募集中)	情報提供を行い、機運を醸成する。県内の文化団体に、国文祭への積極的な参加を呼びかける。
③語学指導等を行う外国青年招致事業 (国際渉外チーム) 決算額等(千円) R5 決算:15,091 R6 当初:17,885	外国から青年を招致し、学校や自治体に配置することで、外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルの国際交流を推進する。	外国青年配置数:77人(R6.3.31 時点) 【内訳】 茨城県:68 人(CIR 4 人、ALT 64 人) 市町村:5 人(CIR 2 人、ALT 3 人) 私立学校: 4 人(ALT 4 人)	外国青年配置予定数:55 人 【内訳】 茨城県:44 人(CIR 4 人、ALT 40 人) 市町村:6 人(CIR 2 人、ALT 4 人) 私立学校: 5 人(ALT 5 人)	引き続き、外国青年による外国語教育の充実及び地域レベルの国際交流を推進していく。

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
④上海事務所事業費 (国際渉外チーム) 決算額等(千円) R5 決算:40,367 R6 当初:51,450	近年拡大している中国の消費市場をターゲットとし、本県の観光需要の掘り起こしや県産品の販路拡大等につなげるため、国際文化交流を推進する。	観光地や特産品、伝統工芸品のPRを実施 ・笠間焼香炉製作アンケートイベント 2023年4月21日・上海市 ・上海旅行産業博覧会 2023年5月29日～6月1日・上海市 ・ジャパンブランド武漢 2023年7月22日～23日・湖北省武漢市 ・日本聖地巡礼講演会 2023年8月12日・在上海日本国総領事館 ・笠間焼販売促進イベント 2023年8月19日～9月2日・重慶市 ・ジャパンブランド寧波 2023年8月26日～27日・浙江省寧波市 ・青島ジャパンデー 2023年10月28日～29日・山東省青島市 ・上海ジャパンブランド 2024年1月13日～14日・上海市 ・笠間焼香炉発表イベント 2024年1月23日・在重慶日本国総領事館公邸	中国のゼロコロナ政策が終了したことにより、各種展示会やイベントもコロナ前のように開催されるようになったので、積極的に出展し、観光地や特産品、伝統工芸品のPRを実施していく。	中国全土で開催される見本市に積極的に出展し、本県の観光需要の掘り起こしや県産品の販路拡大等につなげるため、国際文化交流を推進する。

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
⑤国際交流協会運営費 補助 (女性活躍・県民協働 課) 決算額等(千円) R5 決算:49,586 R6 当初:52,379	(公財)茨城県国際交流協 会の運営に要する経費の 一部補助を行う。	1 多言語による情報提供(11言語) 多言語サイトアクセス数:135,503件 2 外国人相談事業(11言語) 相談件数:942件 3 多文化共生サポーターバンクの運営 登録人数:958人 4 国際理解の推進 ワールドキャラバン講師等派遣回数:66回	1 多言語による情報提供(11言語) 2 外国人相談事業(11言語) 3 多文化共生サポーターバンクの運営 4 ワールドキャラバン講師派遣	協会が円滑な事業の実施と運営を行い民 間における国際交流推進の中核組織とし ての機能を果たせるよう、運営費等を補助 する。

【再掲】

- ・アーカスプロジェクト推進事業(地域振興課)

4 事業KPI

・県民文化センターの利用者数(単位:万人)★3 目標達成度【期待した成果を下回っている】

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	40	60	60	60
実績値	13	34	35		
達成率	—	85.0%	58.3%		

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・II (1)② 県民文化センター管理委託
- ・V (3)① 県民文化センター施設整備

・伝統文化団体への発表機会提供 (単位:団体)★4 目標達成度【概ね期待通りの成果】

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	15	30	35	40
実績値	11	24	28		
達成率	—	160.0%	93.3%		

【事業 KPI を構成する関連事業】

- ・I (1)⑥ 子ども伝統文化フェスティバル
- ・II (2)① 伝統文化総合支援事業

5 事業の評価

「県民文化センターの利用者数」は、過去に施設利用実績があるリピーターへの空き情報の提供や、新規利用団体発掘のための積極的な営業活動等により令和4年度の約34万人を上回る約35万人となったが、他館への催事の移行などの影響により、施設全体の利用者数の伸びが鈍化し、目標達成率は58.3%に留まった。

また、「伝統文化団体への発表機会提供」については、県内外のイベントへの出演機会の提供や、小学校の放課後子ども教室での伝統文化体験会等の実施により達成率は93.3%となり、目標達成度は「概ね期待通りの成果」となった。

6 今後の展開・方向性

県民文化センターは、県内の文化活動団体による公演や展覧会など、日頃の文化活動の発表の場等として利用されており、今後も、本県の文化振興の拠点としての役割が期待されることから、指定管理者である県民文化センター運営共同事業体とともに、施設の利用促進に努め、更なる利用者の増加を図る。

伝統文化団体への発表機会提供については、集客力のある催事や外国人の参加が見込まれる催事の主催者に対して、県内の伝統文化団体の活動情報を提供することにより、催事出演を促進する。また、子どもたちの日頃の活動の成果を発表する「子ども伝統文化フェスティバル」の開催規模を昨年度より拡大し、より多くの団体に対して発表機会を提供する。

Ⅲ 文化的資産の活用

1 施策方向

地域の文化的資産を観光・産業振興や地域振興等に積極的に活用する。また、文化財の適切な保護・継承を図る。

2 課題

我が県の長い歴史の中で形成、伝承されてきた数多くの伝統的な文化財の適切な保存を進めていくことはもとより、これらの文化財を公開するなどして、文化財の活用を図っていくことが求められている。

また、良好な県土の景観を保全し、創造していくためには、公共の建物等の建築に当たり、周囲の自然景観や地域の歴史的及び文化的な特性に配慮する必要がある。

3 県の取組状況

(1) 文化的資産の活用

【再掲】

・フィルムコミッション推進事業(観光物産課)

(2) 文化財の保存等

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
①文化財保護審議会 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:1,150 R6 当初:1,689	県教育委員会の諮問に応じて、 県指定文化財の指定など文化 財の保存及び活用に関する重 要事項を調査審議し、答申す る。	審議会の開催 4回 県指定候補物件調査 5回 県指定文化財の指定 3件 ・有形文化財(絵画)「絹本著色阿弥陀 如来来迎図」(笠間市) ・有形文化財(古文書)「税所文書」(山 戸本)」(大洗町) ・無形民俗文化財「中田永代太々神 楽」(古河市)	審議会の開催 4回予定 県指定候補物件調査 数回検討中	文化財の種類全体(有形文化財、無形 文化財、民俗文化財、記念物)におい て、県内の価値ある文化財の情報の取 集・整理、調査審議を行い、新規の指定 を進めていく。

<p>②文化財等整備費補助事業 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:43,068 R6 当初:53,922</p>	<p>国・県指定文化財の管理、修理、防災、保存及び公開等に対して補助を行う。 また、県所有文化財(美術工芸品)の保存修理を行う。</p>	<p>笠間稻荷神社本殿をはじめ3件の国指定重要文化財及び鴨鳥五所神社本殿をはじめ7件の県指定文化財の保存修理等に対して補助金を交付し、文化財の保護、整備及び調査を実施した。 また、本県が所有する国指定重要文化財である一橋徳川家関係資料の保存修理を実施した。</p>	<p>鹿島神宮本殿ほか6棟をはじめ4件の国指定重要文化財及び木村家住宅をはじめ6件の県指定文化財の保存修理等に対して補助金を交付し、文化財の保護、整備及び調査を実施する。 また、本県が所有する国指定重要文化財である一橋徳川家関係資料の保存修理を引き続き実施する。</p>	<p>国・県指定文化財の保存修理等の費用の一部を補助し、所有者の負担を軽減することで、県民共有の財産である文化財の適切な維持管理と活用の充実を図る。</p>
<p>③埋蔵文化財調査 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:21,971 R6 当初:27,966</p>	<p>埋蔵文化財の保存・管理、出土品を活用した展示・公開、体験学習を行うことにより、埋蔵文化財の保護と普及啓発を図る。</p>	<p>・利用者数:3,118名 ・わくわく体験教室参加者数:152名(年7回実施) ・出前授業:25件(小中学校10、他15) ※新型コロナの影響により、わくわく体験教室は人数を制限して実施。</p>	<p>・わくわく体験教室:2回実施(全7回予定) ・出前授業:3件(小中学校3) (いずれも6月17日現在) ※展示室等で解説資料や拡大写真のQRコードでの提供を試験的に導入し、来館者への情報提供手段の充実を図る。</p>	<p>「新たな日常」における郷土の文化発信拠点として、体験活動資料の動画配信やリモート出前授業などを行える環境整備を進めていく。</p>

(3) 公共の建物等の建築に当たっての配慮

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
<p>①景観形成条例施行事務 (都市計画課) 決算額等(千円) R5 決算:711 R6 当初:2,228</p>	<p>○大規模行為届出に係る審査事務 市町村、建築指導課、県民センター 建築指導課及び特定行政庁と連絡調整を行い、円滑な運用を図る。 ○条例等の運用 公共事業等景観形成指針を運用し、地域の歴史的・文化的特性に配慮した公共の建築物の建築・改修を促す。</p>	<p>大規模行為届出受理件数 44件</p>	<p>大規模行為届出受理件数 (年度末に集計)</p>	<p>—</p>

4 事業KPI

設定なし

5 事業の評価

事業KPIを設定していないため数値による評価はできないが、国や県指定文化財等を保存・保護していくために必要な補助等の実施や、埋蔵文化財の保護と普及啓発に着実に取り組んでいる。

6 今後の展開・方向性

引き続き、文化財の保存や活用を進めていくことはもとより、文化的資産の再発見・再認識を通して、地域の魅力を引き出し、市町村等とも連携しながら、観光振興や地域振興に活かしていく。

IV 文化活動の充実

1 施策の方向

多様な人々が身近な場所で、様々な文化に触れ親しみ、鑑賞し、参加し、創造することができる環境づくりを図る。

2 課題

青少年や子育て中の保護者、高齢者や障害者、外国人など、より多くの県民が文化についての関心を高め、幅広く文化活動に触れられる機会を提供する必要がある。

3 県の取組状況

(1) 県民の文化活動の充実

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
①茨城県文化振興条例及び計画の周知 (生活文化課) 決算額等(千円) R5 決算:— R6 当初:—	県民がより一層文化についての関心を高め、理解を深めることができるよう文化に対する意識の醸成を図る。	1 茨城県文化振興条例及び計画の進行管理に係る審議会の情報等:県ホームページ掲載等により、周知を図った。 2 文化振興事業等:ホームページ「いばらき文化情報ネット」への掲載等により周知を図った。	引き続き、県ホームページ等において、茨城県文化振興条例及び計画に基づく文化振興事業等の情報発信及び周知を図っていく。	引き続き、県ホームページ等において、茨城県文化振興条例及び計画に基づく文化振興事業等の情報発信及び周知を図っていく。
②いばらき文化振興財団運営費補助 (生活文化課) 決算額等(千円) R5 決算:49,669 R6 当初:35,724	県民の文化振興の担い手として大きな役割を果たしている文化振興財団の育成を図る。	文化振興財団の運営に要する経費を補助。 ・R5 年度実績額:49,669 千円	文化振興財団が県の文化行政の一翼を担う役割を果たしていることから、引き続き、運営に要する経費を補助していく。 ※R6 当初予算とR5 決算との差は、令和6年度から県民文化センターの指定管理者から外れたことによる事務局職員の減に伴う減分	文化振興財団が県の文化行政の一翼を担う役割を果たしていることから、引き続き、運営に要する経費を補助していく。

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
③つくば美術館美術普及事業 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:494 R6 当初:495	県民の美術への親しみや関心を深めるため、多様な普及活動を積極的に実施する。	1 貸ギャラリー展の実施 46 団体・個人 延べ利用者数:47,386 人 2 美術講演会・講座等の開催 ・土曜講座(美術講座):10 回 ・美術講演会:1 回 ・美術実技講座:1 回 ・ワークショップ:3 回 ・ビデオ鑑賞会:11 回	1 貸ギャラリー展の実施 44の団体・個人が展覧会を開催予定 2 美術講演会・講座等の開催 ・土曜講座(美術講座):12 回 ・美術講演会:1 回 ・美術実技講座:1 回 ・ワークショップ:3 回 ・ビデオ鑑賞会:9 回	現在の普及活動を継続して実施する。
④現代茨城作家美術展★5 (生活文化課) 決算額等(千円) R5 決算:5,000 R6 当初:-	県民の文化活動の充実を図るため、本県を代表する作家の優れた美術作品を展示することにより、多くの県民に文化芸術を鑑賞する機会を提供する。	第13回現美展 期間:1月20日～2月12日 場所:県近代美術館 部門:日本画、洋画、彫刻、工芸美術、書、写真、デザイン(7部門100点)	(隔年開催のため実施せず)	より本展が県民に浸透するよう、愛称である「現美展」を前面に出し、美術展覧会と協働して、SNSなどを活用した広報を実施していく。
⑤移動展覧会★6 (生活文化課) 決算額等(千円) R5 決算:6,553 R6 当初:6,855	県内各地で広く県民が優れた美術を鑑賞できる機会を提供するとともに、本県の芸術家の作品発表の場を提供するため、茨城県美術展覧会に所属する作家の作品などを展示する移動展覧会を開催する。	1 茨城県陶芸美術館 期間:6月10日～6月25日 14日間 入場者数:1,292人 2 茨城県つくば美術館 期間:7月11日～7月23日 12日間 入場者数:1,616人 3 茨城県天心記念五浦美術館 期間:2月23日～3月10日 15日間 入場者数:2,024人 ※ギャラリートークの様子を録画編集のうえYouTube等に投稿した。	1 茨城県つくば美術館 期間:7月9日～7月21日 12日間 2 しもだて美術館 期間:12月7日～12月22日 14日間 3 茨城県陶芸美術館 期間:2月22日～3月9日 14日間	引き続き県民が本県芸術家の作品を鑑賞できる機会を提供する本展を継続するとともに、会期中に実施しているギャラリートークについて、会場に来られない方でも楽しむことができる動画投稿形式での実施を行っていく。

【再掲】

- ・茨城県芸術祭(生活文化課)
- ・近代美術館美術普及事業(文化課)
- ・天心記念五浦美術館美術普及事業(文化課)
- ・陶芸美術館美術普及事業(文化課)

(2) 高齢者・障害者等の文化活動の充実

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
<p>①高齢者自身の取組み支援事業 (長寿福祉課) 決算額等(千円) R5 決算:13,619 R6 当初:14,601</p>	<p>高齢者が活躍できる社会を目指し、高齢者のスポーツ・健康づくり・地域活動等を推進するため、茨城県健康福祉祭の開催やニューススポーツの推進を行う。</p>	<p>1 ニューススポーツの推進 ・ニューススポーツ推進員養成講習会の開催 参加者:34名 ・ニューススポーツ体験教室の開催 参加者:183名</p> <p>2 第28回茨城県健康福祉祭の開催 ・いばらきねりんスポーツ(交流)大会 参加者:約1,100名 ・全国健康福祉祭(ねりんピック愛顔のえひめ2023) 選手等派遣者数:146名 ・「わくわく美術展」実施 出品申込数:407点、入場者数:1,527名 ・「ぼく☆わたしのおじいちゃん☆おばあちゃんの絵コンクール」実施 応募総数:912点</p>	<p>1 ニューススポーツ・eスポーツの推進 ・ニューススポーツ推進員養成講習会の開催 ・ニューススポーツ体験教室の開催 ・eスポーツ体験会の実施 ・eスポーツフォローアップ研修の実施</p> <p>2 全国健康福祉祭「ねりんピックはばたけ鳥取2024」への選手団派遣 10月下旬開催 約150名派遣予定</p> <p>3 第29回茨城県健康福祉祭の開催 ・いばらきねりんスポーツ交流大会 令和6年4月～令和7年3月 ・いばらきねりんスポーツ中央大会 10月開催予定 ・「わくわく美術展」の実施 ・「ぼく☆わたしのおじいちゃん☆おばあちゃんの絵コンクール」の実施</p>	<p>昨年度に引き続き、オンラインの活用や、よりニーズの高い事業への見直し等について、検討を行っていく。</p>
<p>②元気シニア地域貢献事業 (長寿福祉課) 決算額等(千円) R5 決算:3,556 R6 当初:3,617</p>	<p>高齢者が培ってきた豊富な知識・経験・技術・ノウハウを地域社会に還元するための人材バンク(元気シニアバンク)を創設し、登録のある高齢者が広く活躍できる場となっている。</p>	<p>1 元気シニアバンク登録累計件数 (R6.3末時点) 285件(個人:135件、団体:150件)</p> <p>2 バンク利用状況 ・紹介申込件数:156件 ・新聞広告掲載:2紙 (読売新聞、茨城新聞)</p>	<p>1 元気シニアバンク登録者数 県民センターおよび各関係機関への広報の実施に加え、新聞広告掲載や老人クラブ研修会における事業の紹介により登録件数の増加を図る。 目標件数 300件(R6末)</p> <p>2 バンク利用状況 市町村放課後児童クラブ担当課や、市町村教育委員会を經由して各学校への広報を実施することにより紹介申込件数の増加を図る。</p>	<p>地域コミュニティの希薄化で、高齢者の閉じこもり増が懸念されることから、地域と高齢者との一層のつながりを生み出し、高齢者の地域貢献を推進する。シニアバンク利用者と高齢者双方にメリットが生まれる場を積極的に提供していく。</p>

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
③障害者週間推進事業 (障害福祉課) 決算額等(千円) R5決算:1,596 R6当初:1,978	障害児者による音楽・ダンス・演劇等の発表や美術作品の展示等の文化活動を通じ、障害児者と地域社会の交流を深め、障害児者の社会参加促進を図る。	ナイスハートふれあいフェスティバル 2023 1 期日: 12月7日～12月11日 2 発表会: 12月9日 ・参加者 4団体 47名 3 美術展:12月7日～12月11日 ・作品数 374点(制作者 857名)	ナイスハートふれあいフェスティバル 2024 1 期日:12月5日～12月9日 2 発表会:12月7日 ・参加者 10団体 100名(見込み) 3 美術展: 12月5日～12月9日 ・作品数 400点(制作者 800名)(見込み)	R5年度は、新型コロナウイルス感染症対策で発表会を半日開催としたが、R6年度は、発表会を1日開催する予定である。
④ナイスハートふれあいフェスティバル(学校教育の部) (特別支援教育課) 決算額等(千円) R5 決算:639 R6 当初:1,692	特別支援学校、小・中学校等の特別支援学級や通級指導教室に通う幼児児童生徒が日頃の学習成果の発表をとおして学習活動や社会参加への意欲を高めるとともに、特別支援教育に対する県民の理解と認識を深める。	1 期日:12月8日～12月11日 2 発表会:いばキラTVにて動画配信(1団体) 3 美術展: ・作品数 :4,013点 ・見学者数:3,010名 ※発表会への参加希望団体が実施規定数に満たなかったため学習発表会を中止。発表会への出演予定校のうち、希望する学校については録画した動画を「いばキラTV」で配信した。	1 期日:12月5日～12月9日 2 発表会:休止 ※発表会への参加希望団体が実施規定数に満たなかったため学習発表会を休止。 3 美術展:12月5日～12月9日 ・作品数:4,000点(見込み) ・見学者数:4,000名(見込み)	特別支援学校、小・中学校等の特別支援学級や通級指導教室に通う幼児児童生徒の学習活動や社会参加への意欲を高め、また特別支援教育に対する県民の理解と認識を深めるため、発表会及び美術展を実施する。参加希望状況等によっては、内容を変更して実施する場合もある。

【再掲】

- ・文化芸術体験出前講座(生活文化課)

(3) 青少年の文化活動の充実

【再掲】

- ・茨城県小中学校芸術祭開催(文化課)
- ・茨城県高等学校総合文化祭開催(文化課)

4 事業 KPI

・現代茨城作家美術展の入場者数(単位:人) ★5 目標達成度【概ね期待通りの成果】

	2019(基準) R1	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	—	8,800	—	10,000
実績値	8,276	—	8,515	—	
達成率	—	—	96.8%	—	

【事業 KPI を構成する関連事業】

・IV(1)④現代茨城作家美術展

・移動展覧会の参加者数(単位:人) ★6 目標達成度【期待以上の成果】

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	4,000	5,000	5,500	6,000
実績値	3,198	4,821	7,880		
達成率	—	120.5%	157.6%		

【事業 KPI を構成する関連事業】

・IV(1)⑤ 移動展覧会

(再掲)・関連事業の参加者数(単位:人) ★2 目標達成度【期待以上の成果】

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	11,000	13,000	13,000	13,000
実績値	9,574	14,888	13,799		
達成率	—	135.3%	106.1%		

【事業 KPI を構成する関連事業】

・I(1)② 水戸室内管弦楽団メンバーによる器楽セミナー

・I(1)③ 文化芸術体験出前講座

5 事業の評価

現代茨城作家美術展において、入場者数がコロナ前(令和元年度)の実績を上回る8,515人となり、目標達成度はおおむね期待通りの成果となった。

また、移動展覧会においては、入場者数が4,932人、ギャラリートークのYouTube配信閲覧数が2,948回、合計で7,880人となり、入場者及び配信閲覧数ともに、令和4年度を大きく上回った。YouTube配信では、年間3回実施するギャラリートークの様子を撮影した動画を公開することで、会場に來られない県民に対しても、広く美術を鑑賞する機会を提供できた。

6 今後の展開・方向性

若者や高齢者、障害者、県内在住の外国人など、誰もが本格的な文化芸術活動に身近に触れ合い、参加・創造する機会を提供していくため、文化施設や学校、芸術系教育機関のほか、高齢者団体、障害者団体、国際交流団体などの多様な主体を所管する関連団体とも連携しながら事業を実施していく。

V 文化活動の支援体制の充実等

1 施策の方向

多様な主体と連携し、文化振興施策の総合的な推進を図る。また、文化情報の効果的な発信や文化施設の機能の充実、地域の文化活動の支援等を図る。

2 課題

県から発信する情報がより多くの県民等に届くよう発信方法を工夫する必要がある。

文化施設については、適切な維持・保全を基本とし、老朽化対策を進めながら、文化情報発信の拠点としての機能を高めていく必要がある。

また、文化や芸術の専門家や市町村の意見を踏まえながら、文化団体等への適切な支援を行っていく必要がある。

3 県の取組状況

(1) 文化情報の収集及び提供

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
①いばらき文化情報ネット整備 事業★7 (生活文化課) 決算額等(千円) R5 決算:297 R6 当初:484	市町村や県内文化施設と連携し、県内各地の音楽・演劇・伝統芸能・美術・祭り等の文化催事情報等をホームページ上で公開し、県民のニーズの多様化に対応したリアルタイムの情報提供を行う。	1 掲載内容 文化イベント情報、文化施設、文化活動団体、文化芸術活動への助成情報、県や国の取組、常陸国風土記、いばらきの伝統文化、茨城の先人たち 等 2 主な更新内容 文化イベント情報、お知らせ:120 件 3 アクセス件数 ページビュー数:302,373 セッション数:129,359 ※その他以下媒体を活用して情報発信 ・X(旧:Twitter) :313 件 ・県広報誌ひばり : 1 件 ・YouTube、いばキラ TV、Yahoo!くらし、ラジオ県だより、デジタルサイネージ :44 件	1 掲載内容 文化イベント情報、文化施設、文化活動団体、文化芸術活動への助成情報、県や国の取組、常陸国風土記、いばらきの伝統文化、茨城の先人たち 等 2 主な更新内容(R6.5 月末現在) 文化イベント情報、お知らせ:21 件 3 アクセス件数(R6.5 月末現在) ページビュー数:36,544 セッション数:22,581	「いばらきの伝統文化」ページに掲載している動画をスマートフォンでも閲覧できるよう改良するなどして、見やすく使いやすいホームページを目指している。より一層活用されるよう、コンテンツを充実させてゆく。茨城の文化や郷土の魅力を伝える記事を掲載する。

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
②県政情報紙発行費(「ひばり」)(営業企画課) 決算額等(千円) R5 決算:152,584 R6 当初:165,453	県政に対する理解を深め、協力していただけるよう、県政の重要課題に対する県の考え方や施策に関する情報、県民の利便性を高める生活・地域情報等を掲載した県広報紙「ひばり」を作成、配布する。	12回/年 A4判全頁カラー印刷 810,000部/回(5月号~9月号) 790,000部/回(10月号~4月号) ※X、LINE等のSNSでも配信	12回/年 A4判全頁カラー印刷 770,000部/回 ※X、LINE等のSNSでも配信	引き続き、紙媒体やSNS等を通じ、県政情報の発信を行っていく。
③ラジオ広報(県だより等)(営業企画課) 決算額等(千円) R5 決算:29,628 R6 当初:25,118	茨城県全域をほぼカバーする民放ラジオ局 LuckyFM を媒体とし、県民の県政に対する理解を深めるため、県政の諸施策や催事案内について繰り返し情報提供する。	「ラジオ県だより」(5分間) 768回/年 「県政スポット」(20秒CM) 768回/年 「県政レポート」(10分間) 10回/年 ※上記回数は文化情報以外も含む。	「ラジオ県だより」(5分間) 768回/年 「県政スポット」(20秒CM) 768回/年 ※「県政レポート」はR5年度で廃止 ※上記回数は文化情報以外も含む。	引き続き、ラジオを活用し、県政情報の発信を行っていく。
④政策広報(新聞広報等)(営業企画課) 決算額等(千円) R5 決算:40,180 R6 当初:39,569	緊急または広く県民に周知を必要とする事項について、新聞に掲載を行うとともに、県内のケーブルテレビを活用して、県民に身近な事業・施策等を紹介する番組を制作・放送する。	・「茨城県からのお知らせ」 掲載紙:中央紙6紙及び茨城新聞 8回/年 ・ケーブルテレビ(CATV・10分間) 放送局:県内ケーブルテレビ5社6局 8テーマ/年、毎週土・日放送 ※上記回数は文化情報以外も含む。	・新聞広告「茨城県からのお知らせ」 掲載紙:中央紙6紙及び茨城新聞 8回/年 ・ケーブルテレビ(CATV・10分間) 放送局:県内ケーブルテレビ5社6局 8テーマ/年、毎週土・日放送 ※上記回数は文化情報以外も含む。	引き続き、新聞やケーブルテレビを活用し、県政情報の発信を行っていく。
⑤県政キャンペーン広報(営業企画課) 決算額等(千円) R5 決算:1,892 R6 当初:1,892	県政の重要広報事項について、広く県民に周知するため、地域に密着した地方紙の紙面を利用して、テーマ別のキャンペーンを新聞に掲載する。	・「県政の焦点」シリーズ 茨城新聞:全2段×14回 ・「県政キャンペーン」 茨城新聞:全5段×3回 計全43段 ※上記回数は文化情報以外も含む。	・「県政の焦点」シリーズ 茨城新聞:全2段×14回 ・「県政キャンペーン」 茨城新聞:全7.5段×2回 計全43段 ※上記回数は文化情報以外も含む。	引き続き、新聞を活用し、県政情報の発信を行っていく。

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
⑥インターネット情報発信事業 (営業企画課) 決算額等(千円) R5 決算:4,852 R6 当初:48,520	県民生活に必要な県政情報、各種事業・施策などの情報について、県ホームページや SNS で速やかに情報発信を行う。	県政ホットニュース、イベント、募集・採用情報、その他のお知らせ、報道発表事項などを掲載 ＜アクセス件数(年間)＞ トップページ :4,384,793 件 サイト全体 :77,336,985 件	県政ホットニュース、イベント、募集・採用情報、その他のお知らせ、報道発表事項などを掲載	引き続き、インターネットを活用し、県政情報の発信を行っていく。
⑦いばらきインターネットテレビ事業 (プロモーションチーム) 決算額等(千円) R5 決算:143,878 R6 当初:143,352	本県の魅力などを紹介する動画を制作し、インターネット上で国内外に広く発信する。	オンデマンド動画制作:393 本 年間視聴回数:53,007,001 回	オンデマンド動画の制作(370 本/年)	引き続き、動画制作を通じて本県の魅力発信を行うことで、観光誘客や県産品の販売促進を図る。
⑧メディア訪問強化事業 (プロモーションチーム) 決算額等(千円) R5 決算:4,054 R6 当初:5,893	本県への観光誘客、県産品の販売促進を図るため、テレビや新聞等のメディアに対して効率的・効果的なパブリシティ活動を実施。	県職員によるメディアコンタクトや動画提供等により報道を獲得。 報道件数:154 件 うちTV:73 件	県職員によるテレビやラジオ、新聞、Webメディア等の首都圏メディアへの効率的・効果的なパブリシティ活動を行う。	引き続き、積極的にメディアコンタクトによるリレーションの構築や、動画提供等によるメディア露出の獲得を行うことにより、県の観光情報や県産品等の情報を発信していく。

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
⑨メディア活用魅力発信強化事業 (プロモーションチーム) 決算額等(千円) R5 決算:22,585 R6 当初:22,585	首都圏や茨城空港就航先などのテレビ等のメディアを活用して茨城の観光地や特産品などの情報を発信する。	1 首都圏メディア ・在京キー局を中心としたテレビ番組での本県情報の露出拡大を図った。 ・報道件数:テレビ番組5件 2 茨城空港就航先等 ・茨城空港就航先である神戸・札幌エリア所在メディアを中心とした本県情報の露出拡大を図った。 ・報道件数:8件 うちTV:5件	1 首都圏メディア ・農林水産物の重点品目(恵水、常陸の輝き、栗、常陸牛、イバラキング)や旬の観光スポットなど、在京キー局を中心に情報提供・制作協力等を行うことで、テレビ番組での露出を図る。 2 茨城空港就航先等 ・茨城空港就航先である神戸・札幌・福岡・沖縄エリアなどのメディアへの情報提供・制作協力を実施することにより、テレビを中心とする各種メディアでの露出を図る。	引き続き、各メディアへの情報提供・制作協力等の働きかけを行い、メディアでの露出拡大を図ることにより、県の観光情報や県産品等の魅力を発信していく。
⑩パブリシティ活動強化事業 (プロモーションチーム) 決算額等(千円) R5 決算:53,316 R6 当初:56,758	ノウハウと実績のあるPR会社等を活用し、各種メディアの番組制作やテーマ設定に関わるメディア関係者との関係を構築するとともに、ニュースリリース等を行い、各種メディアへの効率的・効果的なパブリシティ活動を展開する。	PR会社等に委託し、パブリシティに関する県内情報リサーチ、対メディア戦略の立案、プレスリリース等を実施した。 報道件数:3,260件(うちTV:125件) 広告換算額:約141億円 メディアコンタクト数:514件 取材誘致件数:110件	PR会社等に委託し、パブリシティに関する県内情報リサーチ、対メディア戦略の立案、プレスリリース等を実施。	引き続き、県内情報のリサーチ、対メディア戦略の立案、プレスリリース等による取材誘致を行うとともに、特に、アフターデスティネーションキャンペーンやブランド化を目指す重点5品目(常陸牛、常陸の輝き、イバラキング、恵水、栗)を中心としたメディア向けパブリシティ活動を強化することにより、県の魅力を発信していく。

(2) 推進体制の整備

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
①文化審議会開催費 (生活文化課) 決算額等(千円) R5 決算:587 R6 当初:1,013	茨城県文化振興条例に規定する事項等文化振興に関し必要と認める事項について調査・審議する。	文化審議会の開催 ・年3回開催 ・議題:茨城県文化振興計画に基づく取組 状況報告 等	文化振興計画を推進するため、文化振興施策の実績等を文化審議会に報告し、事業の評価を行うとともに、今後の施策展開の参考とするため意見交換を行う。 ・年3回開催予定	—
②文化行政推進費(文化団体育成補助金) (生活文化課) 決算額等(千円) R5 決算:4,207 R6 当初:4,424	県域文化活動団体が実施する講習会や研修事業等の経費を助成し、組織の強化と活性化を図る。	文化団体育成補助 ・茨城県文化団体連合 3,983 千円 ・茨城県ユネスコ連絡協議会 224 千円	文化団体育成補助 ・茨城県文化団体連合 4,000 千円 ・茨城県ユネスコ連絡協議会 424 千円	引き続き県域で活動する文化団体に対し公演等文化事業に要する経費を補助し、アフターコロナにおいても活動が継続できるよう努める。

【再掲】

・いばらき文化振興財団運営費補助(生活文化課)

(3) 文化施設の機能の充実

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
①県民文化センター施設整備 (生活文化課)★3 決算額等(千円) R5 決算:117,769 R6 当初:191,528	老朽化した施設・設備の改修や、施設の利便性の向上等に資する工事を行う。	次のとおり工事を行った。 ・大ホール照明操作卓改修工事 ・本館直流電源装置蓄電池更新工事 ・レストラン厨房天井改修工事 ・分館止水板設置工事 また、備品(移動用音響操作卓、大ホール松羽目、ロビーチェア、ジェットヒーター)を購入した。	次のとおり工事を行っているところ。 ・小ホール・展示室系統空調設備改修工事 ・上記空調設備動力盤改修工事 ・上記工事設計・監理業務委託 ・展示棟エレベーター改修工事設計委託 また、備品(展示館棟のAEDやデジタルサイネージ等)の購入を予定している。	県民文化センターは開館から50年以上が経過し、様々な設備の老朽化が進行していることから、必要な備品整備や施設改修等について優先順位を付け、計画的に進める必要がある。

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
②アクアワールド茨城県大洗水族館施設整備等★8 (生活文化課) 決算額等(千円) R5 決算:194,097 R6 当初:299,280	老朽化した施設・設備の改修や、コロナ対策等施設の利便性の向上等に資する工事を行う。	次のとおり工事を行った。 ・発電機修繕工事 ・高圧接触器更新工事 ・屋上防水改修工事(第1期) ・副受水槽及びポンプ更新工事 ・上記工事設計・監理業務委託	次のとおり工事を行っているところ。 ・ブラインチラー2号機更新工事 ・イルカショープール空調設備更新工事 ・高圧受変電室空調設備更新工事 ・ウッドデッキ更新工事 ・上記工事設計・監理業務委託 ・屋上防水改修工事(第2期) ・熱交換器更新工事(第1期)	施設の長寿命化を図り将来負担を軽減するとともに、さらなる魅力の向上により誘客促進につながるような施設改修等を進める。
③文化施設整備 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:255,395 R6 当初:376,195	美術館・博物館の施設を安全かつ良好な環境に保つため必要な修繕等を実施する。	・近代美術館チラーユニット更新工事 ・五浦美術館照明改修工事 ・自然博物館電気室高圧機器更新工事	・近代美術館高圧受変電設備更新工事 ・五浦美術館空気調和機分解修理工事 ・自然博物館電気室高圧機器更新工事 ・陶芸美術館展示室照明改修工事 ・県立歴史館空調設備更新設計委託 等	老朽化した施設の改修等を随時行い、適切な施設管理に努めていく。
④近代美術館資料整備 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:3,544 R6 当初:8,282	優れた美術作品を収集するとともに、所蔵品の修復・保存等を行う。	・寄贈および管理換により10点の作品を新規収蔵 ・所蔵品の修復・燻蒸、展示室・収蔵庫等の環境調査の実施による作品保全に適した環境維持	・購入および寄贈、管理換による作品収蔵 ・所蔵品の修復:3~6点(予定) ・作品燻蒸:年1回 ・展示室・収蔵庫等の環境調査:通年 ・作品保全に適した環境維持:通年	作品の収集活動や、修復・燻蒸等による作品保全等を、今後も継続して行っていく。

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
⑤天心記念五浦美術館展示 事業 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:30,596 R6 当初:37,517	岡倉天心記念室 岡倉天心の業績を遺品、 書簡、写真パネルによって 紹介するとともに、大観ら五 浦の作家たちの作品や資 料を紹介 ・企画展の開催	1 所蔵作品展の開催 所蔵作品の中から五浦の作家たちの日 本画を中心に6期に分けて展示 入館者数:4,703人 2 企画展の開催 ・「旅するチバラキ～連作《水郷めぐり》の 全貌～」 会期:令和5年2月10日～4月23日 入館者数:7,701人(うちR5 1,743人) ・「椿×名品展 一ふたたび、五浦へ」 会期:4月29日～6月11日 入館者数:7,594人 ・「再興第107回院展 茨城五浦展」 会期:6月23日～7月17日 入館者数:4,896人 ・「岡倉天心『東洋の理想』から120年 天 心と画家たちのアジア」 会期:7月22日～9月3日 入館者数:7,556人 ・「間島秀徳展」 会期:9月13日～11月26日 入館者数:9,637人 ・「天心が託した国宝の未来一新納忠之 介、仏像修理への道」 会期:12月9日～令和6年2月12日 入館者数:9,319人 ・「水底に群れ、水面に集う」 会期:2月17日～4月14日 入館者数:6,695人(うちR5 5,263人)	1 所蔵作品展の開催 所蔵作品の中から五浦の作家たちの日 本画を中心に6期に分けて展示 2 企画展の開催 ・「水底に群れ、水面に集う」 会期:2月17日～4月14日 ・「西田俊英展 不死鳥」 会期:4月20日～6月23日 ・「かいけつゾロリ大冒険展」 会期:7月5日～9月1日 ・「顔 ーどうしてそんな表情(かお)」 会期:9月7日～10月20日 ・「猫を愛(め)でたい」 会期:10月26日～12月8日 ・「幻視する風景 ー藤田志朗の世界」 会期:12月14日～令和7年2月11日 ・「奥原晴湖と近代の南画」 会期:2月21日～4月20日	・天心記念室において、レプリカ中心の資 料展示からオリジナルの比率を高め、内 容の充実を図る。 ・隣県報道機関への広報活動の充実と県 外来館者の誘致。 ・ドローン映像により美術館周辺の景観を アピールすることで、北茨城市や近隣観 光施設等との連携による観光客の誘致。 ・日本画を中心にしつつも、異なるジャン ルの日本美術の紹介を行い、幅広い層 へ訴求。 ・明治から昭和にかけて活躍した日本画家 に加え、平成以降に活躍する日本画家を 取り上げ、現在進行形の美術を紹介して いく。

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
⑥自然博物館常設展 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:22,970 R6 当初:22,260	以下の7つのテーマにより 常設展を開催する。 ①進化する宇宙 ②地球の生いたち ③自然のしくみ ④生命のしくみ ⑤人間と環境 ⑥観察コーナー ⑦茨城の自然	「進化する宇宙」など5つのテーマによる常 設展の適切な開催を行うため、常設展示 保守点検、修繕、展示更新、展示更新設 計等を行った。 ・常設展示保守点検、動刻設備メンテナ ス ・展示室照明点検 ・第2展示室サーベルタイガー展示ケー スの更新及び空調設備の設置 ・第3展示室「茨城沖の魚類」の標本追加 ・ディスカバリープレイスにおける魚類標本 追加・「博物館のコレみて」、「茨城の自然 インフォメーション」、「トピックスコーナー」 の定期的な小規模更新 ・常設展示の部分展示更新 ・常設展示の展示機器及び植物レプリカ 修繕	今後も魅力ある博物館であるため、常設展 の展示において以下のような計画を立て、実 施する。 ・常設展示保守点検、動刻設備メンテナンス ・展示室照明点検 ・第5展示室の展示更新 ・第2展示室の展示更新の設計 ・照明のLED化 ・老朽化が懸念される吊り展示物の撤去 ・「博物館のコレみて」、「茨城の自然インフォ メーション」、「トピックスコーナー」の定期的 な小規模更新 ・常設展示の部分展示更新 ・劣化した照明、ガラスなどの交換	展示室ごとに展示計画を検討・作成する。 ・開館当時の古いコンピューターの展示を 更新する。 ・蛍光灯の生産終了までに、すべての蛍光 灯のLED化を進める。 ・安全性に配慮した改修を実施する。
⑦自然博物館企画展 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:77,269 R6 当初:105,389	4回の企画展を開催する。 (※R6年度は30周年記念 企画展を通常の2会期分 行うため、3回の開催)	1 「いのちの色ー世界をいどる生きもの のたちー」 期間:令和5年2月18日～6月11日 入館者数:89,089人(R5分) 2 「うんち無しでは生きられない!ーあな なの知らない自然のしくみー」 期間:令和5年7月8日～9月18日 入館者数:131,203人	1 「恐竜 vs 哺乳類ー化石から読み解く進化 の物語ー」 期間:令和6年3月2日～6月9日 入館者数:103,959人(R6分) 2 「羊歯ー花はないけど、華はあるー」 期間:令和6年7月6日～10月6日	多くの入場者が期待できそうな企画展、親 子で楽しめる企画展、所蔵品を活用した企 画展、調査研究の成果を発表する企画展 等、予算のバランスを鑑みつつ、バラエテ ィに富む内容の企画展を計画していく。

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
		<p>3 「地衣類－木を、岩を、地面を彩る身近な生きもの－」 期間:令和5年10月7日～令和6年1月21日 入館者数:101,877人</p> <p>4 「恐竜 vs 哺乳類－化石から読み解く進化の物語－」 期間:令和6年3月2日～6月9日 入館者数:42,779人(R5分)</p>	<p>3 「ミュージアムパーク 30年のありったけ－いつも茨城県自然博物館はおもしろい！－」 期間:令和6年11月2日～令和7年6月1日</p>	
<p>⑧自然博物館資料整備 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:15,693 R6 当初:13,533</p>	<p>動物、植物、地学分野の展示用又は研究用資料の購入による収集と、調査研究活動や寄贈資料受け入れによる収集によって博物館資料の充実を図る。</p>	<p>合計 12,330 点の資料を収集した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・購入・製作資料:237 点 ・採集資料:2,100 点 ・寄贈資料:9,993 点 <p>※画像データは除外。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の自然や学術的に貴重な資料を中心に収集を行う。 ・収集資料の増加に伴う収蔵庫の狭隘化対策の一環として、博物館の発見工房裏にある既設の野外管理棟を、高温多湿をさけた倉庫に改修した収蔵倉庫として整備中である。 	<p>寄贈の申し出が増えているが、学術的に貴重なコレクション等を中心に受け入れを行う。当館で受け入れができない資料については、資料は人類共通の遺産との視点に立ち、標本セーフティーネット等を利用して、他の保管場所や活用方法を探る。</p>
<p>⑨自然博物館学術調査研究 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:3,998 R6 当初:4,313</p>	<p>1 総合調査研究 茨城県の生物相やその変遷、地質等の地学的特性を把握するため、自然史資料の集積を図り、茨城県内の資料の目録をつくることを目的とする調査活動。</p>	<p>1 総合調査 令和5年度は、第Ⅲ期第2次総合調査の3年目にあたる。調査は、3つの調査会を設けて外部有識者に委託し、そこに当館の職員が加わって進めている。調査地は県内全域を対象とし、未調査の場所や収集が不十分な分野の資料を中心に調査を実施した。</p>	<p>1 総合調査 令和6年度は、第Ⅳ期総合調査の1年目にあたる。調査地は県内全域を対象とし、未調査の場所や収集が不十分な分野の資料を中心に調査を実施している。調査は、動物・植物分野については2つの調査会を設けて外部有識者に委託し、そこに当館の職員が加わって進めている。地学分野については、当館の学芸系職員が主体となって調査を行い、必要に応じて、同定作業などを外部の研究者へ委嘱する。</p>	<p>安全に留意しながら、調査研究を実施する。なお、外部団体に委託している総合調査については、実施にあたり十分注意を必要とする。各団体と連携して県内各地域の特徴ある自然史資料の集積を図るとともに、併せて、第Ⅳ期総合調査の実施計画の策定を行う。</p>

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
	<p>2 重点研究</p> <p>茨城県の自然史や当館の博物館活動に関する重要な課題や今日的な課題をテーマとし、グループで行う調査研究活動</p> <p>3 創造的調査研究</p> <p>博物館職員の資質の向上と博物館活動の発展、さらに自然科学の向上発展に寄与することを目的として、職員各自の専門性や業務内容に関連したテーマに基づき行う調査研究活動</p>	<p>2 重点研究</p> <p>以下のテーマで各種機関と連携して実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・博物館収集資料を用いた寄生虫調査 ・県内ブナ林における哺乳類調査 ・湿地の植生の保全 ・特定外来生物オオバナミズキンバイ防除 ・県内ブナ調査 ・筑波山地域の地質と地形について-上曾トンネル工事での産出鉱物- ・那珂湊層群および双葉層群の化石から復元される後期白亜紀における北西太平洋の生態系 ・植物化石に基づく裸子植物から被子植物への分化及び被子植物の環境適応に関する研究 <p>3 創造的調査研究</p> <p>学芸員の専門性を生かした調査研究を外部資金等も活用しながら進めた。学芸系職員の資質向上と情報共有を図るため、館内での学芸研究発表会を1月と3月に実施した。</p>	<p>2 重点研究</p> <p>以下のテーマで各種機関と連携して実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・茨城県内に生息する多特定外来生物(哺乳類)の情報蓄積および科学的モニタリング ・湿地の植生の保全 ・特定外来生物オオバナミズキンバイ防除 ・県内ブナ調査 ・常磐地域の上部白亜系から復元される大量絶滅以前の海洋生態系 ・植物化石に基づく裸子植物から被子植物への分化及び被子植物の環境適応に関する研究 <p>3 創造的調査研究</p> <p>学芸員の専門性を生かした調査研究を外部資金等も活用しながら進めている。学芸系職員の資質向上と情報共有を図るため、館内での学芸調査研究活動発表会を継続して実施する。</p>	

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
<p>⑩歴史館普及事業 (文化課)</p> <p>決算額等(千円)</p> <p>R5 決算:9,215</p> <p>R6 当初:10,181</p>	<p>各種講座や教室、展覧会での展示解説などの普及事業を実施し、歴史に親んでもらうとともに、利用促進を図る。</p>	<p>1 各種講座・教室等の開催、展示解説の実施等</p> <p>常設展展示解説:3,223 人</p> <p>特別展等展示解説:4,704 人</p> <p>講演会:703 人</p> <p>附属施設活用事業:3,346 人</p> <p>各種講座・教室:1,030 人</p> <p>歴史館に親しむイベント:20,259 人</p> <p>学校教育との連携事業:3,810 人</p> <p>郷土学習支援事業:1,453 人</p> <p>その他:575 人</p> <p>2 歴史館まつり、歴史館いちょうまつり等の開催</p> <p>いちょうまつり:44,524 人</p>	<p>1 各種講座・教室等の開催、展示解説の実施等</p> <p>常設展展示解説</p> <p>特別展等展示解説</p> <p>講演会</p> <p>附属施設活用事業</p> <p>各種講座・教室</p> <p>歴史館に親しむイベント</p> <p>学校教育との連携事業(実施予定)</p> <p>郷土学習支援事業等</p> <p>その他</p> <p>2 歴史館まつり、歴史館いちょうまつり等の開催</p>	<p>来館できない事情の方にも応えられるよう、展示内容の紹介や歴史館まつり等のイベント内容について動画を配信するほか、展示に関するミニ知識を X(旧ツイッター)、インスタグラムで随時紹介する等、SNSを積極的かつ効果的に活用した情報発信を行っていく。</p>

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
①歴史館展示事業 (文化課) 決算額等(千円) R5 決算:46,207 R6 当初:39,803	・「茨城の歴史をさぐる」をテーマに、茨城の原始古代から近現代までの歴史を概観できる常設展示を開催する。 ・特別展、企画展を開催する。	1 特別展 ①「鹿島と香取」 会期:令和5年4月8日～5月7日 入館者数:5,375人 ②「那珂湊反射炉―鉄と近代を創る―」 会期:令和6年2月16日～4月7日 入館者数:7,181人 2 企画展 ①「メノツケドコロⅡ ―収蔵品の謎を解明せよ!―」 会期:令和5年6月3日～7月30日 入館者数:8,487人 ②「むかしのはなし―登場するモノ、伝えるモノ―」 会期:令和5年8月12日～10月9日 入館者数:4,762人 ③「音楽家・松平頼則とその時代 ―時代を切りひらいた巨匠の軌跡―」 会期:令和5年10月28日～12月17日 入館者数:13,382人	1 特別展 ①「那珂湊反射炉 ―鉄と近代を創る―」 会期:令和6年2月16日～4月7日 ②「名品、ゾクゾク ―歴史館の半世紀―」 会期:令和6年10月5日～11月24日 ③「幸村―常陸に生まれし遊歴の画僧―」 会期:令和7年2月15日～4月6日 2 企画展 ①(アーカイブズ展)「歴史を紡いだ茨城の先人 ―岩上二郎、長久保赤水、菊池謙二郎、小野友五郎」 会期:令和6年4月27日～6月23日 ②「安部朱美創作人形展 昭和の家族 ―伝えるこころ―」 会期:令和6年7月20日～9月16日 ③「未来の歴史展(仮称)」 会期:令和6年12月14日～令和7年1月26日	・感染予防対策を講じた体験型展示を開発していく。 ・来館が難しい方々へ展示解説の動画撮影を行い、ユーチューブでの配信を行っていく。

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
⑬まちづくり推進費 (都市計画課) 決算額等(千円) R5 決算:1,496 R6 当初:1,496	1 まちづくりシンポジウム 開催地の実情や社会情勢に応じた テーマに基づき、講演やパネルディ スカッション等を行う。 2 市町村のまちづくり支援 官民連携スキルや民間団体育成ノウ ハウの習得等を目的として、市町村職 員の資質向上を図る。	1 まちづくりシンポジウム 令和6年1月23日開催 2 市町村のまちづくり支援 都市計画セミナー、先進地視察を実施	1 まちづくりシンポジウム 開催時期未定 2 市町村のまちづくり支援 都市計画セミナー、先進地視察を実施予定	—
⑭文化施設の連携体 制の強化 (生活文化課・文化課) 決算額等(千円) R5 決算:- R6 当初:-	関東甲信越静岡ブロック文化・文化財行 政主管課長協議会を共同で開催、又 は他県等で開催した際に出席すること により、文化財行政及び文化行政の連 携を深める。	書面開催 (持ち回りにより事務局は東京都)	持ち回りにより、群馬県において当該会議を開催 予定。	—

【再掲】

- ・県民文化センター管理委託(生活文化課)
- ・近代美術館美術普及事業(文化課)
- ・近代美術館常設展(文化課)
- ・近代美術館企画展(文化課)
- ・つくば美術館美術普及事業(文化課)
- ・天心記念五浦美術館美術普及事業(文化課)
- ・陶芸美術館美術普及事業(文化課)
- ・陶芸美術館常設展(文化課)
- ・陶芸美術館企画展(文化課)
- ・陶芸美術館資料整備(文化課)

- ・自然博物館教育普及事業(文化課)
- ・歴史館魅力向上事業(文化課)

(4) 地域における文化活動の支援

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
①地域創造の助成事業 (生活文化課) 決算額等(千円) R5 決算:- R6 当初:-	(一財)地域創造より募集のあった助成金について、県内市町村等に情報提供するとともに、とりまとめを行い、申請を行う。	(1)地域の文化・芸術活動助成事業 採択1件:(公財)水戸市芸術振興財団 (2)地域伝統芸能等保存事業 採択1件:石岡市(コロナにより中止)	(1)地域の文化・芸術活動助成事業 採択3件:(公財)水戸市芸術振興財団 (公財)取手市文化事業団 (2)地域伝統芸能等保存事業 採択1件:石岡市	—

【再掲】

- ・茨城県芸術祭(生活文化課)
- ・各文化活動への後援(生活文化課)
- ・文化行政推進費(生活文化課)
- ・いばらき文化振興財団運営費補助(生活文化課)

(5) 財政上の措置

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
①文化振興基金積立金 (生活文化課) 決算額等(千円) R5 決算: 88 R6 当初: 59	文化振興を図るため、安定した財源を確保し、文化振興を推進する。	R5 運用益(受取利息) 88 千円 ・運用益及び基金の取崩しを伝統文化総合支援事業に活用	伝統文化総合支援事業に基金を充当	—

(6) 顕彰

事業名	事業内容	R5年度実績	R6年度取組状況	今後の方針・方向性
①ほう賞事務取扱費 (秘書課) 決算額等(千円) R5 決算:412 R6 当初:602	茨城県知事褒賞事務取扱 要領に基づき、表彰状、 賞状、感謝状、褒状等の 交付を行う。	・表彰状: 295 枚 ・賞 状: 876 枚 ・感謝状: 647 枚 ・褒 状: 39 枚	・表彰状: 47 枚 ・賞 状: 79 枚 ・感謝状: 273 枚 ・褒 状: 2 枚 ※令和6年5月31日現在	・スポーツ大会等の中止により、賞状申請件数が 減少していたが、コロナ禍以前の申請件数に戻り つつあるため、審査や筆耕の体制を維持する。
②県功績者表彰費 (秘書課) 決算額等(千円) R5 決算:3,935 R6 当初:4,362	・茨城県表彰規則に基づ き、県の名声を高めるとと もに、広く県民から敬愛さ れ、社会に明るい希望を 与えた方及び社会の進歩 発展に著しい功労・功績 のあった方等を表彰する。	・期日:令和5年11月10日 ・表彰対象者45人、15団体 県民栄誉賞表彰1人 特別功労賞表彰4人・1団体 功績者表彰31人・10団体 新しいいばらきづくり表彰3人・2団体 知事奨励賞表彰6人・2団体	・期日:令和6年11月13日頃(調整中) ・10月上旬の受賞者決定を目指して、候 補者選考を進める。	・スポーツや文化芸術の活動がコロナ禍前と大差 なく行われるようになり、優れた功労者の発掘がし やすくなった一方で、賞区分によっては表彰分野 が偏ったり、候補者の発掘に苦慮する状況もある ため、各分野から幅広く情報収集を行い、幅広い 分野・年代の候補者の発掘に努める。

4 事業KPI

・各種媒体を通じた文化情報の発信件数(単位:件)★7 目標達成度【期待以上の成果】

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	290	360	430	500
実績値	212	291	478		
達成率	—	100.3%	132.8%		

【事業 KPI を構成する関連事業】

・V(1)① いばらき文化情報ネット整備事業

・(再掲)県民文化センターの利用者数★3 目標達成度【期待した成果を下回っている】

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	40	60	60	60
実績値	13	34	35		
達成率	—	85.0%	58.3%		

【事業 KPI を構成する関連事業】

・II(1)②県民文化センター管理委託

・V(3)①県民文化センター施設整備

・アクアワールド茨城県大洗水族館入館者数(単位:万人)★8 目標達成度【期待以上の成果】

	2020(基準) R2	2022 R4	2023 R5	2024 R6	2025(目標) R7
目標値	—	110	120	120	120
実績値	65	120	121		
達成率	—	109.1%	100.8%		

【事業 KPI を構成する関連事業】

・V(3)② アクアワールド茨城県大洗水族館施設整備等

5 事業の評価

「各種媒体を通じた文化情報の発信件数」については、ホームページや X (旧 Twitter)、県広報誌、YouTube、いばキラ TV 等を活用して年間 478 件の文化情報を発信したことにより、目標達成度は「期待以上の成果」となった。

アクアワールド茨城県大洗水族館については、「展示」「普及」「研究」の 3 つの機能を相互に連動させ、魅力ある海の総合ミュージアムとして効果的かつ円滑な展示と運営に努めた。令和 5 年度は、茨城県のデスティネーションキャンペーンや人気キャラクターとのコラボ事業等の効果により、総入場者数は 1,208,906 人と歴代 3 位の記録となり、令和 4 年度に引き続き 120 万人台の実績となった。

6 今後の展開・方向性

ホームページや SNS などの媒体を活用して情報発信を行い、文化芸術に対する県民の意識醸成を図っていく。

また、県民文化センターについては、施設の利便性向上や老朽化対策を行い、適切な維持管理に努めるとともに、引き続き利用者に安全・安心で快適な空間を提供していく。大洗水族館については、サメの飼育数日本一を誇り、日本初のシロワニの繁殖を成し遂げたナンバー 1 かつオンリー 1 の水族館として確立するとともに、茨城デスティネーションキャンペーンを機に上昇した認知度を維持しつつ、今まで以上に新たな挑戦を図り、県民から愛され親しまれる施設運営と事業展開に努める。